

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和6年7月3日(水) 18:30~20:06

場 所：総合福祉センター「しゃるる」

出席者：41人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 令和6年度の推進事業について(資料①参照) 町長説明

(2) 自由懇談

4. その他

- ・町内会・自治会からの質問・意見に対する回答
別紙「関係機関・団体からの質問・意見」に対する回答一覧
- ・エフエムくりやまについて(資料②参照)
- ・緊急告知FMラジオについて(資料③参照)
- ・ごみの分別(リサイクルの推進)について(資料④参照)

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談・全体質疑応答】

●市町村合併についての状況について

町民：今後の地域公共交通の在り方等が課題となっている。人口減少も進んでいく中で、市町村合併において課題解決を図る考えはあるか。現時点での状況をお聞きしたい。

町長：20年ほど前に、「平成の大合併」という形で国の主導で市町村合併が全国的に進められていた。栗山町においても、南幌町、栗山町、由仁町の3町で2回合併にチャレンジした経過があるが、結果的に成立しなかった。現在は国の推進期間も終わったので、話は進んでいない状況。各自治体、同じように人口減少・財政規模の縮小といった課題を抱えている中、デマンドバスの共同運行等、広域で連携できる事業を行おうと協力し合っている。そういった広域連携の取り組みを踏まえながらも、将来的には国に扇動さ

れる形ではなく、各自治体が自主的に合併について議論を行う必要が出てくるかもしれないと考えている。もしそうなった場合にも、町民の皆さんとは十分に協議をしながら進めていきたいと思っている。

●緑町通りの道路改修について

町民：側溝のふたをグレーチングにするという話を聞いたが本当か。グレーチングだとタイヤのパンク等が起きるので、出来ればコンクリートにしてほしい。

建設課長：持ち帰って内容確認し、改めて返答する。

●マイナンバーカードについて

町民：マイナンバーカードの取得は任意という理解で問題ないか。国で進めている、健康保険証とマイナンバーカードを一体化させるという流れに違和感がある。健康保険証がなくなり、病院への受診が出来なくなることがないように国へ訴えてほしい。

町長：健康保険証については、確かに12月以降新しい保険証は発行されないが、暫定的な措置として「資格者証」が発行されるので病院を受診できないといったことにはならないと考えている。マイナンバーカードと健康保険証の一体化の必要性については、同じ薬を重複して受け取っている等の課題を是正し、必要な方へ必要な医療を届けるといった形を整えていくための制度と理解している。これから先の時代を考えても、マイナンバーカードの制度は必要なものと考えているので、私から国へ、制度の見直し等を要望することはない。只、制度を進めていく中で、住民の皆さんが不安に思うことや混乱することがないように、周知や説明は丁寧に行っていく。

●災害発生時の対応について

町民：役場庁舎の耐震化、食料の備蓄状況、自家発電の有無、情報伝達手段等々、災害に対する備えや対応についてお聞きしたい。

総務課長：災害発生時の情報伝達手段としては、緊急告知FMラジオ、Jアラート、町の防災メールといったものがある。指定避難所は町内に16ヵ所あり、各避難所で避難者が過ごすことのできるよう、食料や毛布などの備蓄品を備えている。非常用発電は役場には既に備わっており、今年度は栗山小学校に整備予定となっている。役場庁舎の耐震化については、震度6まで耐えられる形で改修を行っている状況。全世帯へ配布している防災ガイドブックには、指定避難所の場所や災害発生時の被害状況を想定したハザードマップを付けているので、そういったツールを活用しながら情報収集を行い、皆さんでも日ごろから対策を検討いただければと思う。

●災害発生後の備えについて

町民：能登半島地震について、災害関連死に関する報道を多く耳にする。被害実態の把握の為にドローンの設置を考えているか。避難所運営時にはトイレの問題が多く聞かれているため、トイレトレーラーの設置を検討してみたいか。町内会館を炊き出しの拠点にする等、災害時に活用する動きが他の自治体で出てきている。今後の町内会館の在り方を検討してみたいか。

町長：言われる通り、災害が起きた後の対応は非常に重要な点だと考えている。今年度、防災計画の見直しを進めており、様々な関係機関の方を交えて、近々防災会議を行う予定。ご提言があった点については、まちづくり懇談会で出ている意見として、そちらの会議でも検討していければと思う。

●緊急告知 FM ラジオの配布について

町民：現在、貸出制度にしているが、買い取り方式にする考えはあるか。今後、故障していくことも考えられるが、維持管理や故障時の対応についてはどう考えているか。

総務課長：現時点で具体的に話ができるような状況ではないが、今後の対応については検討を進めている。災害発生時に必要な情報伝達手段として全世帯向けに配布しているものの、配布状況が現在3割ほどとなっているため、皆さんの手元に届くように、配布に力を入れている状況となっている。

●ごみ袋の在庫状況について

町民：先日、燃やせるごみのごみ袋を購入しようと思ったが、町内の取扱店舗全てにおいて、在庫がない状況だった。今後このようなことがないようにお願いしたい。

環境政策課長：在庫不足でご迷惑をお掛けした。昨日、納品となり各店舗に並ぶようになった。毎月在庫の確認をしているが、発注から納品まで期間を要する部分も含め、早めに増刷の判断をする等、今後は在庫がなくなるようなことのないよう対応していく。

以上